

第97回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成17年12月2日(金)13:30～16:30

場所：JR東海品川ビルA棟 中会議室1

出席者：委員長 小豆澤（神戸大）

副委員長 北野（JR東海）

委員 岩松（鉄道総研），大崎（東京大），坂本（九州工業大），牧（東海大），増澤（茨城大，代理小沼），矢野（産総研，代理乾）

幹事 水野（信州大），村井（JR東海）

幹事補佐 鳥居（武蔵工業大）

提出資料

- 97-1 第96回リニアドライブ技術委員会議事録案（鳥居幹事補佐）
- 97-2 リニアドライブ技術委員会名簿（鳥居幹事補佐）
- 97-3 平成17年度リニアドライブ技術委員会活動報告（小豆澤委員長）
- 97-4 リニアドライブ技術委員会開催予定（小豆澤委員長）
- 97-5 電気学会全国大会シンポジウム課題提案一覧（小豆澤委員長）
- 97-6 リニアドライブ技術委員会傘下調査専門・協同研究委員会の変遷（小豆澤委員長）
- 97-7 平成18年度(H18年4月～H19年3月)活動計画(二次案)（小豆澤委員長）
- 97-8 第18回「電磁気関連のダイナミクス」シンポジウムの概要（小豆澤委員長）
- 97-9 半導体電力変換／リニアドライブ合同研究会（村井幹事）
- 97-10 超電導応用電力機器／リニアドライブ合同研究会（北野副委員長）
- 97-11 平成17・18年度リニアドライブ関連各委員会予定一覧（鳥居幹事補佐）
- 97-12 LD技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール（案）（真田幹事補佐）
- 97-13 【議論のお願い】新技術委員会の検討（小豆澤委員長）
- 97-14 多自由度モータのブレイクスルー技術調査専門委員会設置趣意書(案)（矢野委員）
- 97-15 多自由度モータとその要素技術調査専門委員会（MDD）活動報告（矢野委員）
- 97-16 産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会（MEL）活動報告（鳥居幹事補佐）
- 97-17 委員会構成員変更届（鳥居幹事補佐）
- 97-18 磁気支持応用機器の高機能化協同研究委員会（MLV）活動報告（村井幹事）
- 97-19 医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会（ECD）活動報告（増澤委員）
- 97-20 第9回多自由度モータとその要素技術調査専門委員会議事録（矢野委員）
- 97-21 第3回産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会議事録（鳥居幹事補佐）
- 97-22 第4回産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会議事録（鳥居幹事補佐）

議事

1 議事録確認

資料97-1を用いて議事録の確認を行い、承認された。関連して、新規調査専門委員会について、慎重に検討して、次回提出・審議予定であるとの報告があった。

2. 報告事項

2.1 資料97-2を用いて、委員会名簿の確認が行われた。

2.2 資料97-3を用いて、小豆澤委員長より、本年度の活動報告案の紹介があった。

2.3 資料97-4を用いて、小豆澤委員長より、来年度LD技委の予定についての説明があった。開催予定日を4/14, 7/7, 10/6, 12/1, 2/2に決定した。7月は100回記念であるため、幹事グループで見学会等もからめて開催案を検討することとした。

2.4 資料97-5を用いて、小豆澤委員長より、H18年電気学会全国大会シンポジウムに、MDD委員会提案のシンポジウムが採択されたことが報告された。

2.5 資料97-6を用いて、小豆澤委員長より、調査専門・協同研究委の変遷についての説明があった。関連して、新委員会ではデザイン関係を意識して設置することを確認した。

2.6 資料97-7を用いて、小豆澤委員長より、既に上部委員会に提出済みの、来年度のLD技委の活動計

画についての説明があった。

- 2.7 資料 97-8 を用いて、小豆澤委員長より、来年神戸で開催の、電磁力シンポの準備状況についての報告があった。第 1 回実行委員会を開催し、会場は確保済みである。セッションの分野割を少々改編したこと、プログラム概要、予算、基調講演の案等が説明された。
- 2.8 資料 97-9 を用いて、村井幹事より、12/15,16 に沖縄で開催予定の半導体電力変換／リニアドライブ合同研究会のプログラムを含めた開催案内と、参加の勧誘があった。
- 2.9 資料 97-10 を用いて、北野副委員長より、1/23,24 に東京で開催予定の超電導応用電力機器／リニアドライブ合同研究会のプログラムを含めた開催案内と、参加の勧誘があった。1537 頁 50/1.
- 2.10 資料 97-11 を用いて、平成 17・18 年度各委員会の予定を確認し、以下の修正があった。
- (1) 技術委員会： 4/14, 7/7, 10/6, 12/1, 2/2 の開催予定を追加。
 - (2) LD 研究会： 6 月[MEL], 7 月[SLD](TER), 11 月[MDD][ECD], 12 月[MLV](SPC), 1 月[SLD](ASC) の開催予定を追加。
 - (3) MLV 委： 4/27 の開催予定を追加。
 - (4) 関連会合に 7/20-21 APSAEM(Sydney, Australia)を追加。
- 2.11 資料 97-12 を用いて、資料提出スケジュールについての確認が行われた。MLV 委の解散・設置審議は(1)4 月、(2)7 月を予定することとした。

3. 審議事項

- 3.1 資料 97-13 を用いて、小豆澤委員長より、技術報告書についての現状報告と上部委員会からの要望が紹介された。これに関して、発行を義務づけられてボランティアで作成しているのにこのような扱いをするのは疑念がある、発行部数の下限をなくすべきである、直接費だけでは十分黒字である、残部を大会特別価格のみでなく常時安価に頒布するべきである、等の意見があった。
- 3.2 資料 97-14 を用いて、~~北野~~委員より、多自由度モータのブレイクスルー技術調査専門委員会の設置趣意書案が朗読され、審議された。ブレイクスルーという言葉を使うのは早すぎるのではないかと、等の様々な意見があり、さらに案を練った上でメール審議することとした。

4 各調査専門委員会活動報告

資料 97-15～97-22 を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。

以上